

Julabo Case Study

JULABO PRESTO A80t

20L反応容器を
-20℃から+20℃に加熱。



目的：

このケーススタディでは20リットルのガラスリアクターでJULABO PRESTO A80tの加熱能力のテストを実施。
A80tは、片道1mのメタルチューブでリアクターに接続されています。
-20℃から+20℃にヒートアップするようにプログラムされています。

環境：

室温 20℃
湿度 45%
電源 208 V / 60 Hz

試験条件：

使用機種	ユラボ社製 PRESTO A80t
冷却能力	+20℃ 1.2 kW 0℃ 1.2 kW -20℃ 1.1 kW
加熱容量	3.4 kW
バンドリミット	with
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL80
反応容器	20Lガラス反応容器(Chemglass) 容器内にはエタノールを19L充填
ジャケット充填	8 L
温度制御	外部制御 (ICC)



試験結果：

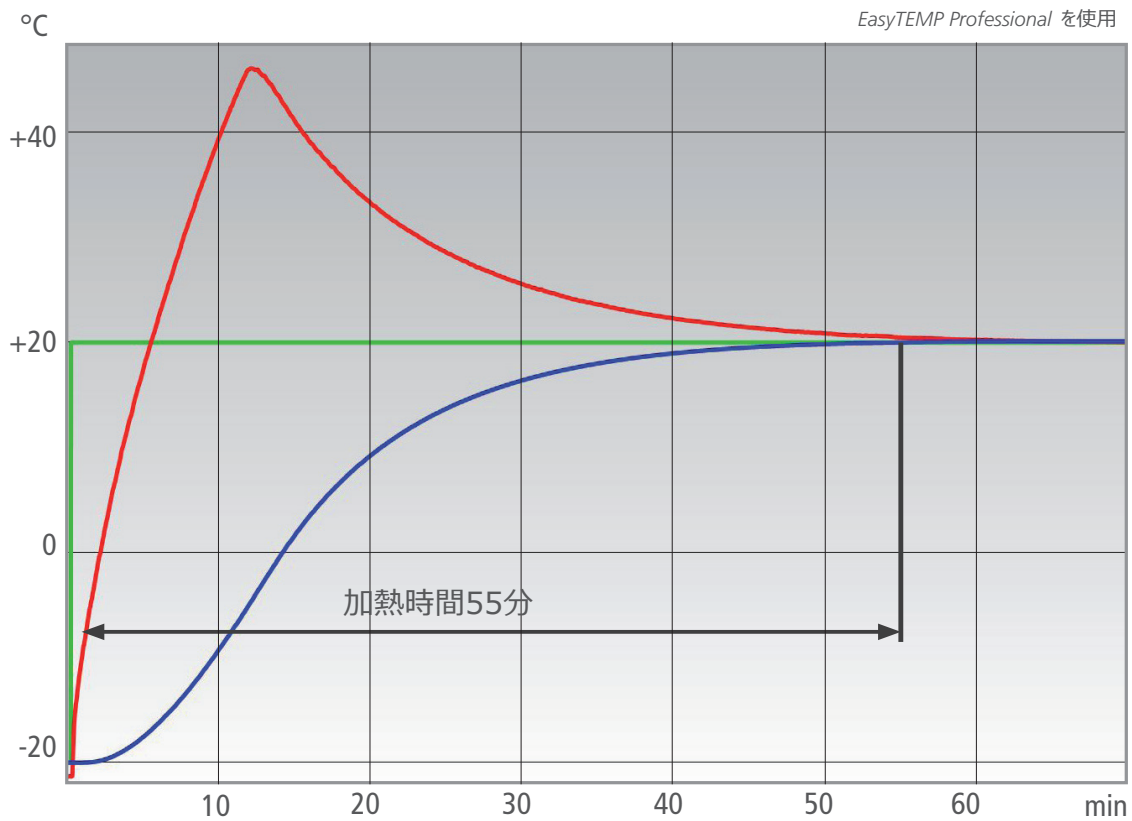
次ページのグラフを参照ください。：A80t加熱プログラムでは、
-20℃から+20℃へ55分オーバーシュート無しで実施。

その他機能

弊社循環ホース
とアダプターの使用
により、捻じれなく
接続出来ます。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット内温度

その他機能
 ポンプ吐出圧調整
 機能を搭載
 PRESTO® には
 希望のポンプ吐出
 圧数値を設定する
 事が可能です。

その他機能
 バンドリミッドにより
 容器内部温度とジャ
 ケット温度の最大温
 度差の設定が可能。
 これにより、反応容器
 の破損防止をします。

反応容器の構造

JULABO GmbH
 Eisenbahnstraße 45
 77960 Seelbach / Germany
 Tel. +49 (0) 7823 51-0